

FQ-S70M 工事説明書

工事店様へのお願い

- 排気筒内径 → φ40、外径 → φ41
- 給気筒接続口外径 → φ43、内径 → φ42 になっています。

使用する工事部品は、必ず本機の附属品及びトヨトミ 純正別売部品の給排気筒を使用してください。

設置工事の前に、この工事説明書をよくお読みのうえ正しく据付けてください。
なお、この工事説明書は、工事終了後に取扱説明書と一緒に必ずお客様にお渡しください。

△警告

★据付けや移設は、販売店または据付業者がおこなってください。
お客様ご自身で据付けや移設をされ、不備があると感電や火災の原因になります。

★屋内給排気及び床下給排気禁止

屋内または床下に排気すると、排ガスが室内に漏れて危険です。必ず屋外に排気してください。



★給排気筒を確実に接続

給排気筒を確実に接続し、しっかりと固定してください。風、振動、衝撃などで外れたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



△注意

★次の場所には据付けない

火災や予想しない事故の原因になります。●温室、飼育室など人のいない場所。

●付近に燃えやすいものがある場所。●水平でない場所、不安定な場所。**使用禁止**

●階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所。●不安定な物をのせた棚などの下。

●防火対策をしていないマントルピース。●可燃性ガスの発生する場所またはある場所。

●特殊な壁（内部に通気層があるものなど）を使用している場所。

●高地（標高1500m）以上では使用しないでください。酸素濃度が薄いので不完全燃焼します。標高1000~1500mの場所では再調整が必要です。

裏面の「**高地仕様への変更のしかた**」を参照して、調整してください。

M-B

安全のために必ずお守りください

●ここに示した事項は、△警告、△注意に区分しています。

△警告 この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

△注意 この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●イラスト（まんが）の横にある○マークは「**禁止**」、●マークは「**指示**」、△マークは「**注意**」を表しています。

△警告

★据付けや移設は、販売店または据付業者がおこなってください。
お客様ご自身で据付けや移設をされ、不備があると感電や火災の原因になります。

★屋内給排気及び床下給排気禁止

屋内または床下に排気すると、排ガスが室内に漏れて危険です。必ず屋外に排気してください。

★給排気筒を確実に接続

給排気筒を確実に接続し、しっかりと固定してください。風、振動、衝撃などで外れたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

△注意

★可燃物との距離を離す

既設の油タンクを使用する場合は、送油管をストーブに取り付ける前に、油タンクからの灯油をバケツなどの容器で受け、油タンク内に水、ごみ、さびなどがないことを確認してから取り付けてください。

●既設の油タンクから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。

●給排気筒トップは閉そくしない場所に設置

積雪の多いときに給排気筒トップの周りが雪でふさがれない場所に設置してください。

●また、板などによる「雪囲い」は給排気の妨げになるのでおやめください。

●運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

●給排気筒を確実に接続し、しっかりと固定してください。風、振動、衝撃などで外れたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

●屋外タンクでの使用を前提としておりますので、附属のゴム製送油管の長さは1mです。

●屋内タンクを使用する場合は、別売のゴム製送油管（※11070915・長さ3m）をご使用ください。屋内用の据置式の油タンクは、不燃材の床上に据え付けること。

△注意

★据付けは火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準を守っておこなってください。

標準据付け例

●給排気筒トップは閉そくしない場所に設置

●既設の油タンクから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。

●給排気筒トップは上方および両側に気流を阻止する障害物がないこと。

●給排気筒トップは上方

FQ-S70M 工事説明書 給排気筒取付け型紙

604

壁固定金具
穴位置

標準給排気筒の取付け

- ⑨ チャンバー室の給気側配管接続口に、L形給気ホースエンドと給気ホースを接続して、ホースバンド(大)で固定します。
チャンバー室の排気側配管接続口に排気用L形継手を接続します。
- L形給気ホースエンドと給気ホースは、ねじって取り付けます。
- L形給気ホースエンドと給気ホースを固定するとき、ホースバンド(大)で締め付けすぎると変形することがありますので、変形しないように注意してください。
- 給気ホースとL形給気ホースエンドのはめ込みが固い場合は給気ホースに水または石鹼水をぬってからはめ込んでください。
- ⑩ 本体背面の排気筒外れ検知線をはずして、丸端子を取り付けてあるタッピンねじを使用して固定します。
●排気筒外れ検知線を接続しないと、ストーブは燃焼できません。
- 使用しないチャンバー室の給気口には、給気口キャップをかぶせておいてください。
- ⑪ ストーブを置台ごと静かに移動させ、ストーブ背面の排気口を排気用L形継手にはめ、給気口をL形給気ホースエンドにはめ込みホースバンド(大)で固定します。
確実に差し込まれていることを確認してください。
- 給気ホースは適当な長さにニッパやカッターナイフなどで切ってください。
- ⑫ 排気用L形継手とストーブの排気口の接続部に排気筒ストッパーをはめます。
排気用L形継手とチャンバー室の接続部にはパイプホルダーを取り付けます。
- ⑬ ⑮ 項で軽くねじ込んで仮固定した給排気筒トップを、もう一度強くねじ込んでしっかりと固定してください。
●「上」マークを上側にすると約2°の傾斜がとれて、設置できます。
- ⑭ トップ本体のフランジ部全周などにコーキング剤(シリコン系)を塗布し、雨仕舞をしてください。

お願い

[囲われた場所に設置する場合]

- ⑦ チャンバー室の給気側配管接続口に、L形給気ホースエンドと給気ホースを接続して、ホースバンド(大)で固定します。
チャンバー室の排気側配管接続口に排気用L形継手を接続します。
- L形給気ホースエンドと給気ホースは、ねじって取り付けます。
- L形給気ホースエンドと給気ホースを固定するとき、ホースバンド(大)で締め付けすぎると変形がありますので、変形しないように注意してください。
- 給気ホースとL形給気ホースエンドのはめ込みが固い場合は給気ホースに水または石鹼水をぬってからはめ込んでください。
- ⑧ 本体背面の排気筒外れ検知線をはずして、丸端子を給排気筒のチャンバー室に取り付けてあるタッピンねじを使用して固定します。
●排気筒外れ検知線を接続しないと、ストーブは燃焼できません。
- 使用しないチャンバー室の給気口には、給気口キャップをかぶせておいてください。
- ⑨ ストーブ背面の排気口を排気用L形継手にはめ、給気口をL形給気ホースエンドにはめ込みホースバンド(大)で固定します。
確実に差し込まれていることを確認してください。
- 給気ホースは適当な長さにニッパやカッターナイフなどで切ってください。
- ⑩ 排気用L形継手とストーブの排気口の接続部に排気筒ストッパーをはめます。
排気用L形継手とチャンバー室の接続部にはパイプホルダーを取り付けます。

お願い

集合煙突利用の禁止

高層建築の集合煙突を利用しての給排気は、火災予防上危険ですから、絶対におこなわないでください。

給排気筒の再利用禁止

警告

古い給排気筒は使用しないでください。必ず附属の給排気筒セットを使用してください。



使用禁止

4 試運転

試運転は、ご使用者と一緒に必ずおこなってください。
●取扱説明書「15 据付け、移設について」の「試運転」に従って、運転準備、運転、消火の手順の試運転をおこなってください。

●ストーブの据付け工事が終わりましたら、必ず試運転をおこない、使用者に運転方法はもちろんのこと、日常の点検・手入れの方法、定期点検、故障・異常時の処置方法、連絡先等をお教え願います。

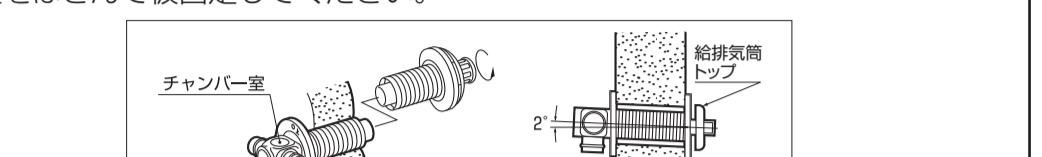
●同様の「取扱説明書(保証書付き)」と共に工事終了後はこの「工事説明書」をお客様にお渡し願います。

5 廃棄するときの注意

ストーブを廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。
リサイクルの支障となります。

標準給排気筒の取付け

- ⑪ チャンバー室を壁貫通穴へ差し込むようにストーブを置台ごと静かに移動させて壁面に寄せてください。
●チャンバー室の「上」マークが上にくるように回してください。(フランジの「上」マークを上にして取り付けますと、先下がり2°傾配になります。)
- ⑫ 給排気筒トップを室外より壁穴を通して、チャンバー室へ軽くねじ込んで(右廻し)壁をはさんで仮固定してください。



- ⑬ ⑯ 項で軽くねじ込んで仮固定した給排気筒トップを、もう一度強くねじ込んでしっかりと固定してください。
●「上」マークを上側にすると約2°の傾斜がとれて、設置できます。

- ⑭ トップ本体のフランジ部全周などにコーキング剤(シリコン系)を塗布し、雨仕舞をしてください。

標準給排気筒の取付け

お願い

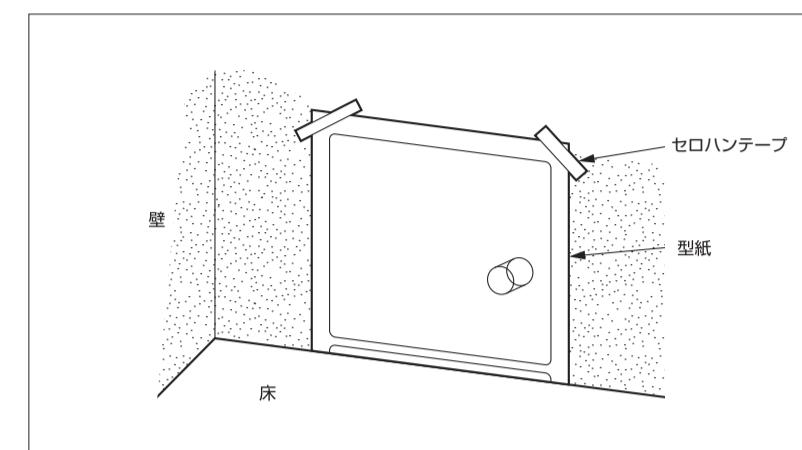
- 壁内のすじかい・鉄筋・鉄骨・電気・電話配線、ガス・水道配管を充分考慮してください。
- 壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものには使用できません。
- 壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものである場合は、別売部品を使用してください。

工事店様へのお願い

この製品は
●排気筒内径 → $\phi 40$ 、外径 → $\phi 41$
●給排気筒接続外径 → $\phi 43$ 、内径 → $\phi 42$
になっています。

型紙のご使用方法

①型紙の床面を床に合わせて壁に貼り付けてください。
②給排気筒の穴あけ位置に印をつけてください。
同時に壁固定金具穴位置にも印をつけてください。

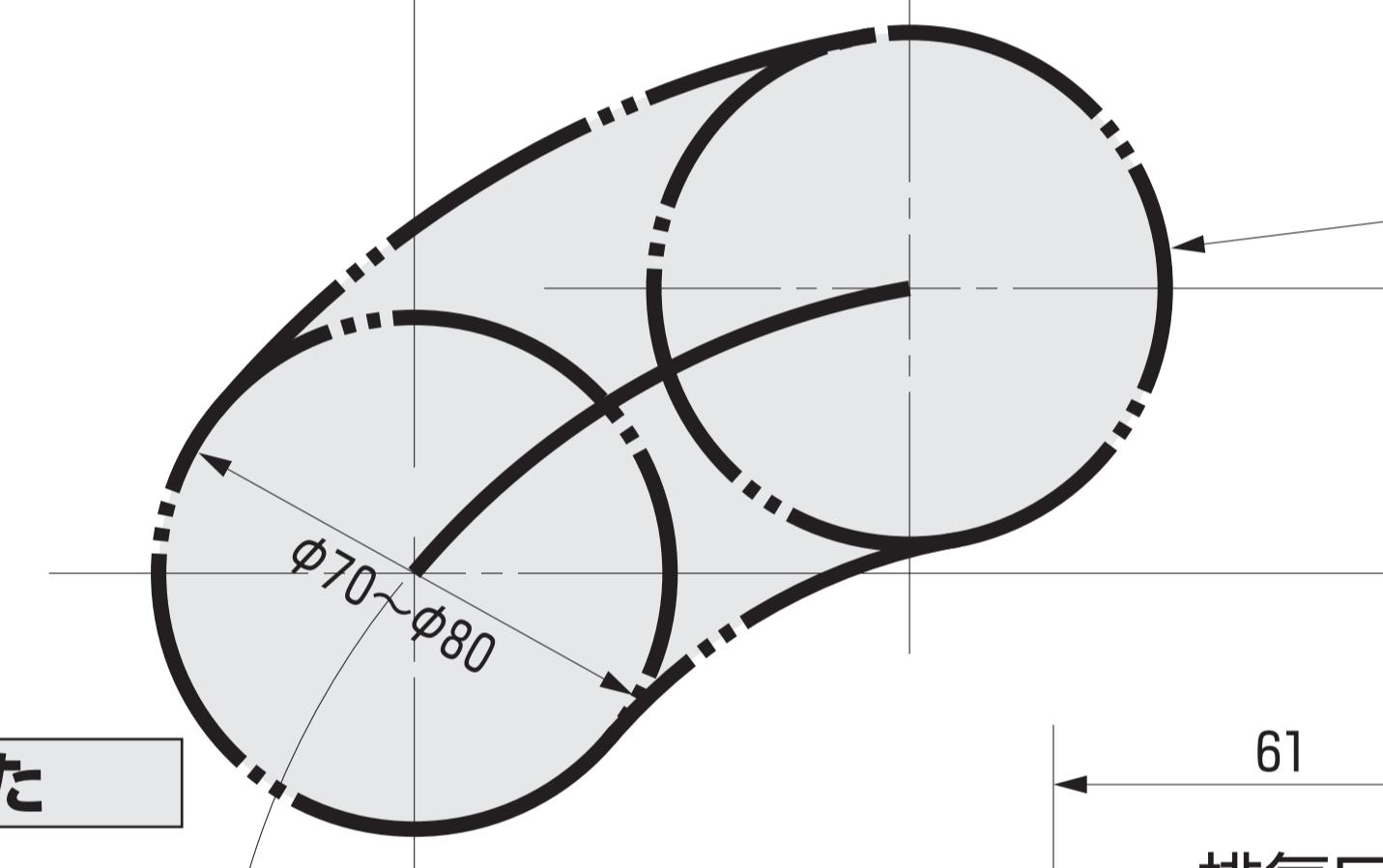


333

149

81

標準給排気筒トップ 設置可能範囲

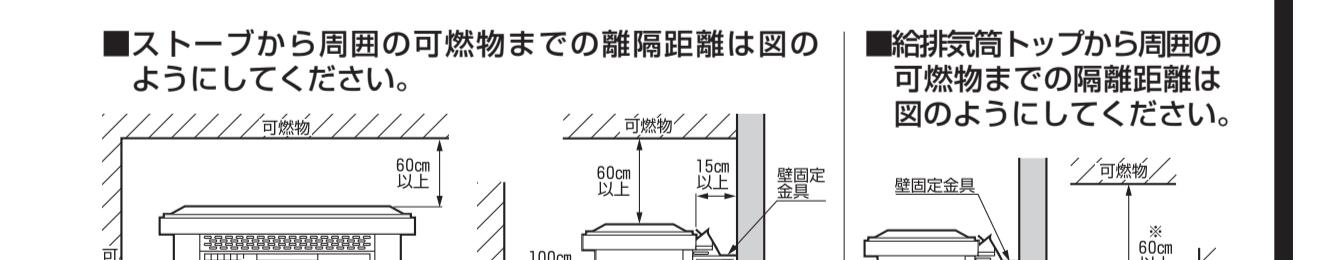


308

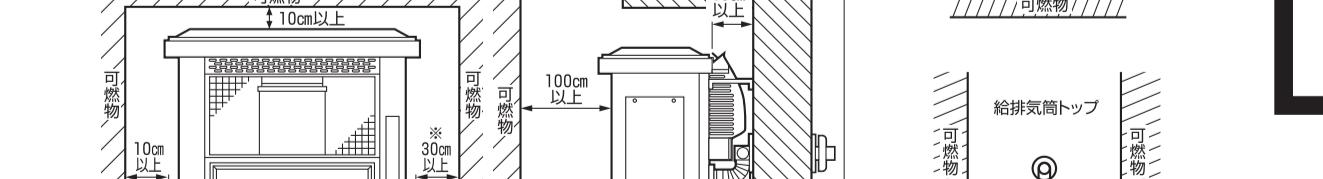
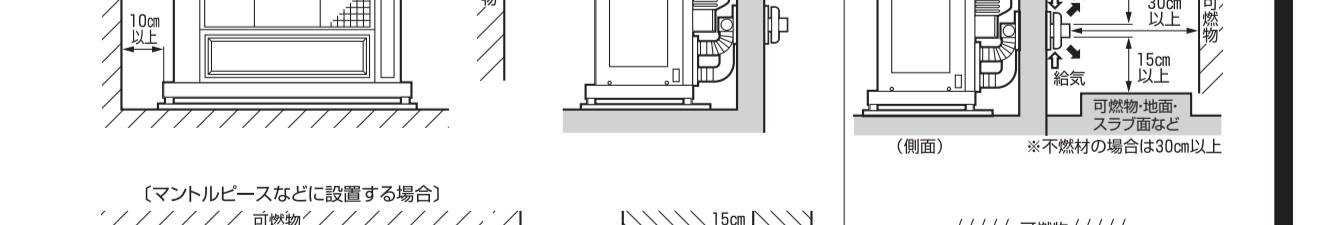
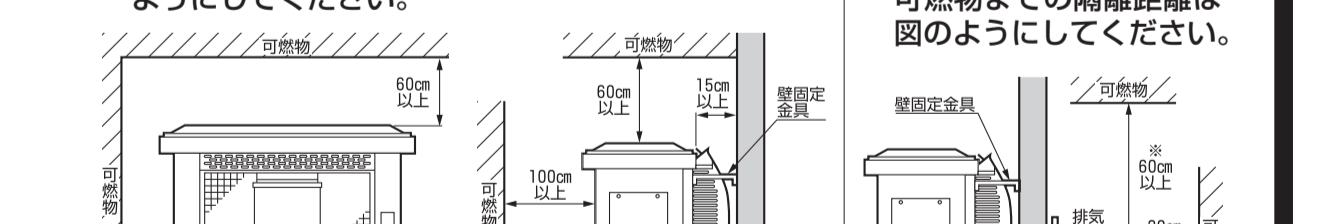
排気口

チャンバーカバーを 使用して 囲われた場所に 設置する場合

■ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。



■給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようにしてください。



●ストーブは、ストーブに附属された置台の上に据付けること。

497

壁固定金具
穴位置

269